

潤滑装置

オイル・プレッシャ点検	D-1	オイル・フィルタ交換	D-2
エンジン・オイル	D-2	オイル・クーラ (BP-ZE [RS])	D-3
エンジン・オイル点検	D-2	オイル・クーラ取外し/取付け	D-3
エンジン・オイル交換	D-2	オイル・パン	D-4
オイル・フィルタ	D-2	オイル・パン取外し/取付け	D-4

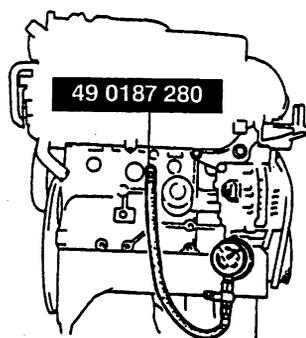
D

オイル・プレッシャ点検

警告

- 火傷の恐れがある為、各部品の取外し/取付け作業は、エンジン冷間時に行う。

1. オイル・プレッシャ・スイッチを取外す。
2. SSTをオイル・プレッシャ・スイッチ取付け穴に接続する。



3. エンジンを始動し、暖機する。
4. エンジン回転数を一定に保った時のゲージの値を読む。

参考

- オイル・プレッシャはオイルの粘度、油温等で異なる場合があります。

標準値

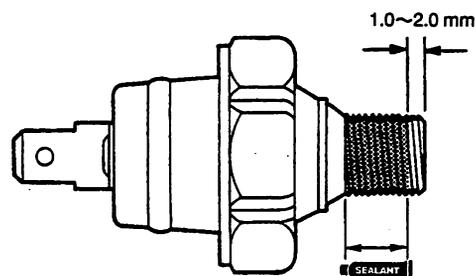
295~392 kPa{3.0~4.0 kgf/cm²}[3,000 rpm]

5. エンジンを停止し、エンジンの温度が下がるのを待つ。
6. SSTを取外す。

注意

- オイル・プレッシャ・スイッチの先端部に液状ガasketを付着させない。

7. オイル・プレッシャ・スイッチのネジ部に、液状ガasket T B1207 Bを塗布する。



8. オイル・プレッシャ・スイッチを取付ける。

締付けトルク

12~17 N·m{1.2~1.8 kgf·m}

9. エンジンを始動し、オイル漏れがないことを確認する。

エンジン・オイル、オイル・フィルタ

エンジン・オイル

エンジン・オイル点検

1. 車両を水平な場所に置く。
2. エンジンを暖機する。
3. エンジンを停止し、約5分間放置する。
4. オイル・レベル・ゲージを抜き取り、オイル・レベルがゲージのF～L間にあることを確認する。
5. オイル・レベルがLより下方の場合は、純正モータ・オイルを補充する。

エンジン・オイル交換

警告

- 火傷をする恐れがある為、エンジン・オイル交換作業はエンジン冷間時に行う。

1. 車両を水平な場所に置く。
2. オイル・フィルタ・キャップとオイル・ドレーン・プラグを取り外し、オイルを抜取る。
3. 新品のガスケットを介して、オイル・ドレーン・プラグを取付ける。

締め付けトルク

30～41 N・m{3.0～4.2 kgf・m}

4. 純正モータ・オイルを注入する。

指定オイル

タイプ：純正モータ・オイル

API SG、SH、SJ

SAE 10W-30

注入量(L)

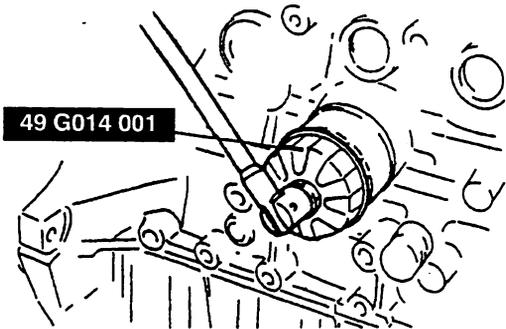
項目	エンジン	
	B6-ZE [RS]	BP-ZE [RS]
オイル交換油量	3.2	3.6
オイル+オイル・フィルタ 交換油量	3.4	3.8
全油量	3.6	4.0

5. オイル・フィルタ・キャップを取付ける。
6. エンジンを始動し、オイル漏れがないことを確認する。
7. オイル量を点検する。(参照：エンジン・オイル、エンジン・オイル点検)

オイル・フィルタ

オイル・フィルタ交換

1. SSTを使用して、オイル・フィルタを取外す。



2. SSTを使用して、オイル・フィルタ側面の取付け指示又は、包装箱の取付け指示に従って締付ける。
3. エンジンを始動し、オイル漏れがないことを確認する。
4. オイル量を点検する。(参照：エンジン・オイル、エンジン・オイル点検)

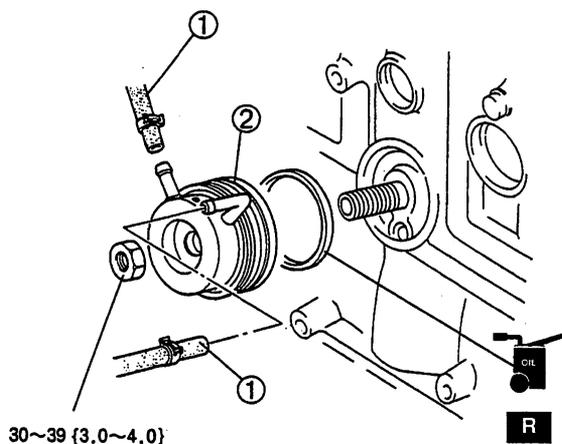
オイル・クーラ (BP-ZE [RS])

オイル・クーラ (BP-ZE [RS])

オイル・クーラ取外し/取付け

1. バッテリ (-) ケーブルを切離す。
2. 冷却水を抜取る。(参照: セクションE、冷却水、冷却水交換)
3. インテーク・マニホールド・ブラケットを取外す。
4. オイル・フィルタを取外す。(参照: オイル・フィルタ、オイル・フィルタ交換)
5. 図に示す手順で取外す。
6. 取外しと逆の手順で取付ける。
7. エンジン・オイル量を点検する。(参照: エンジン・オイル、エンジン・オイル点検)
8. エンジンを始動し、オイル漏れがないことを確認する。

BP-ZE [RS]



N·m(kgf·m)

1	ウォーター・ホース
2	オイル・クーラ

オイル・パン

オイル・パン

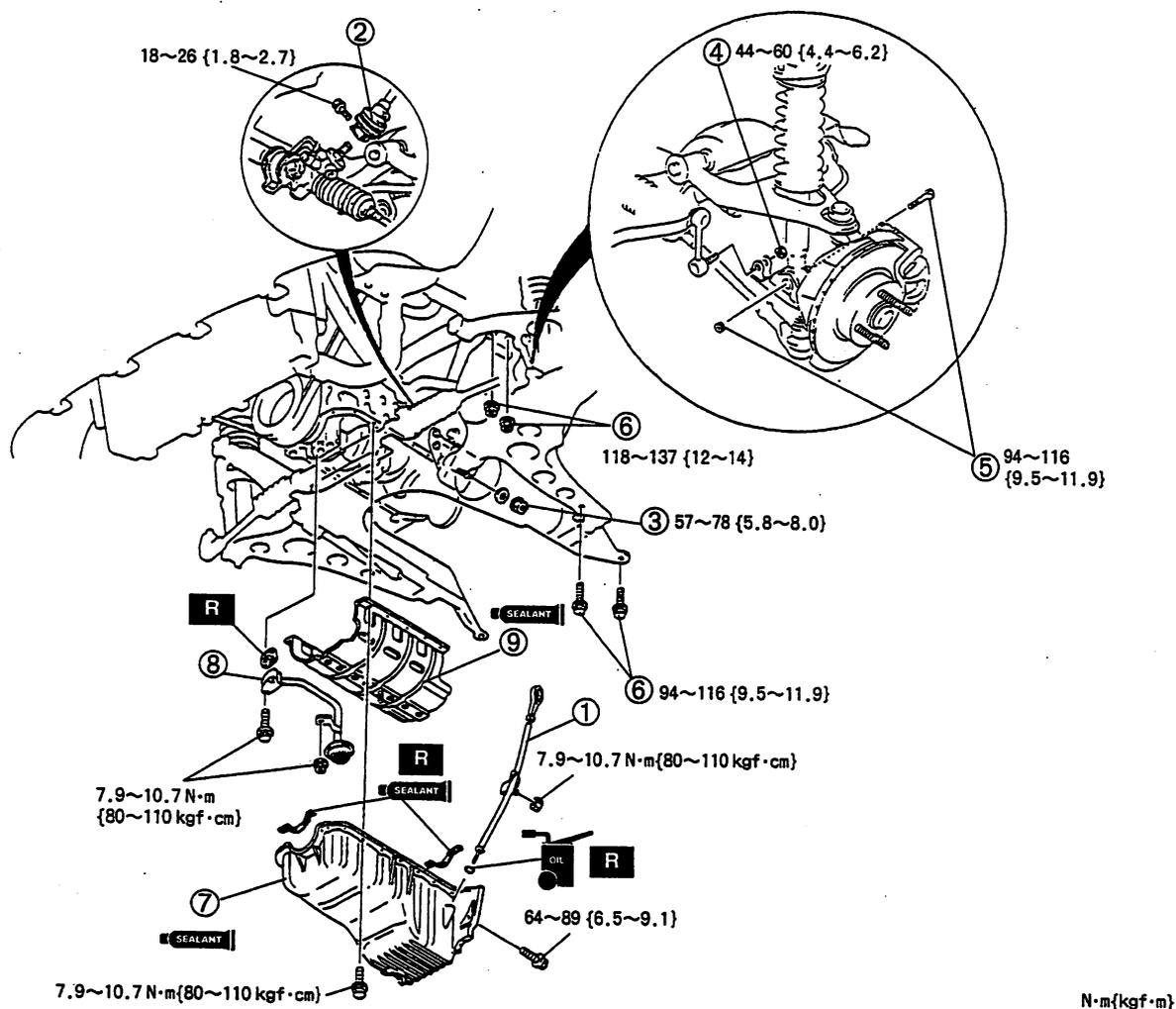
オイル・パン取外し／取付け

1. バッテリ (-) ケーブルを切離す。
2. エア・クリーナ・アッセンブリを取外す。(参照：セクションF、吸気装置系統、吸気装置系統取外し／取付け)

注意

- 当部位を整備作業時には、誤ってABSホイール・スピード・センサ・ハーネスを引っ張り、ハーネス断線を引き起こす恐れがある。従って、当部位の整備作業前にABSホイール・スピード・センサ（アクスル側）を取外し、作業時に誤ってハーネスを引っ張ってしまわない箇所にセンサを固定しておく。

3. ABSホイール・スピード・センサを取外す。
4. エンジン・オイルを抜取る。(参照：エンジン・オイル、エンジン・オイル交換)
5. 図に示す手順で取外す。
6. 取外しと逆の手順で取付ける。



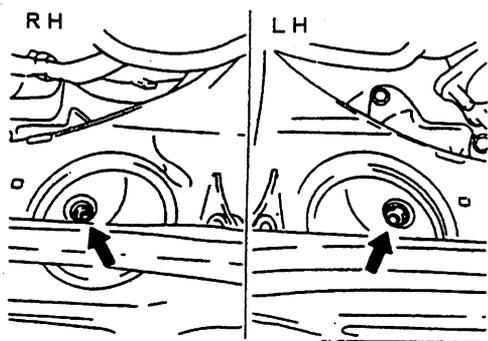
1	オイル・レベル・ゲージ、パイプ
2	インタメディエイト・シャフト
3	エンジン・マウント・ナット ☞ 取外し時の留意点
4	スタビライザ・コントロール・リンク・ナット
5	ショック・アブソーバ・ボルト、ナット
6	クロスメンバ・ボルト、ナット ☞ 取外し時の留意点

7	オイル・パン ☞ 取外し時の留意点 ☞ 取付け時の留意点
8	オイル・ストレーナ
9	バッフル・プレート ☞ 取外し時の留意点 ☞ 取付け時の留意点

オイル・パン

エンジン・マウント・ナット取外し時の留意点

1. オイル・パン取付けボルトをゆるめる。
2. エンジン・マウント・ナットを取外す。



3. エンジンをチェーン・ブロック等で吊し、少し持ち上げる。

クロスメンバ・ボルト、ナット取外し時の留意点

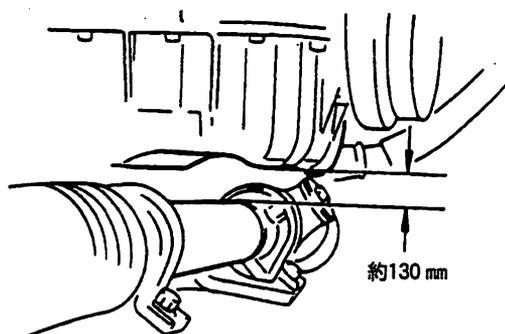
1. トランスミッション・ジャッキでクロスメンバを支える。
2. クロスメンバ・ボルト、ナットを取外す。

注意

- クロスメンバを下げる時に、ブレーキ・ホース、A/Cパイプ及びP/Sパイプを痛めないように注意する。

参考

- クロスメンバは、ピニオン・シャフトとインタメディエイト・シャフトを切離しながら下げる。
3. クロスメンバは、ステアリング・ギヤ・ハウジングとオイル・パンのすき間が約130 mmになるまで下げる。



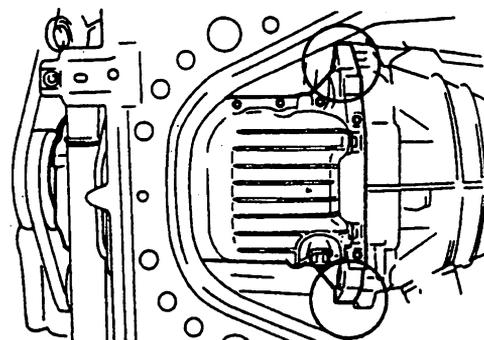
オイル・パン取外し時の留意点

1. オイル・パン取付けボルトを取外す。

注意

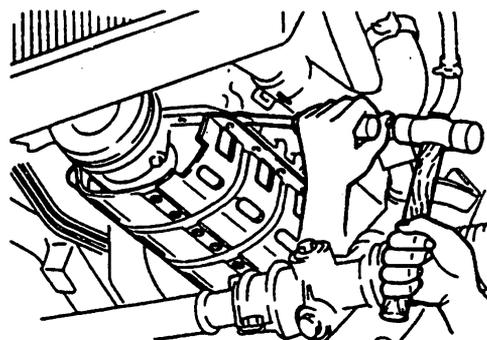
- シリンダ・ブロックとオイル・パンの合わせ面に(－)ドライバ等を差し込まないようにする。

2. 図示箇所に(－)ドライバを差し込んで、オイル・パンをエンジンより切離す。



バッフル・プレート取外し時の留意点

- バッフル・プレートとシリンダ・ブロックの間に(－)ドライバ等を差し込み、バッフル・プレートを切離す。

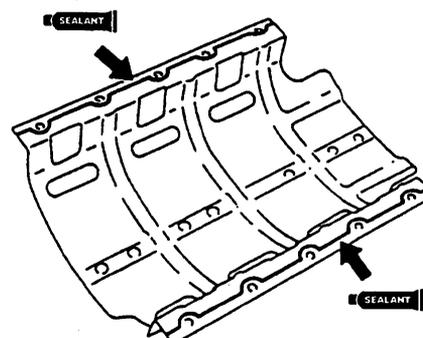


バッフル・プレート取付け時の留意点

- バッフル・プレートにSH780M液状ガスケット、または、液状ガスケットTB1207Bを図示のように切れ目なく塗布する。

線径

φ2.5~3.5 mm

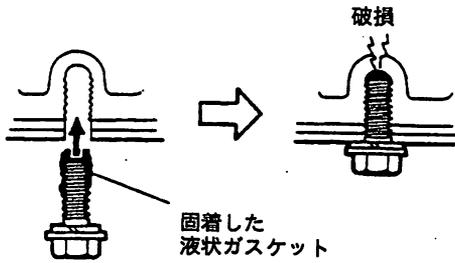


オイル・パン

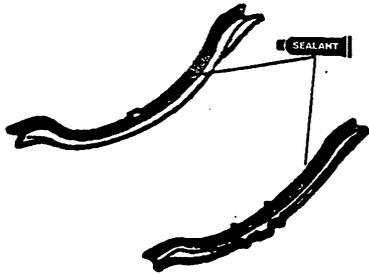
オイル・パン取付け時の留意点

注意

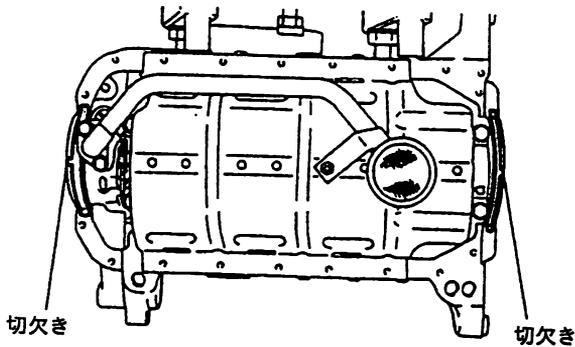
- 液状ガスケットの固着したボルトを使用して締付けると、シリンダ・ブロックのネジ穴の頂部が、液状ガスケットの圧ぱくによって、き裂をおこす恐れがある。



1. オイル・パン・ガスケットのオイル・ポンプ及びリヤ・カバーとの合わせ面に S H780M 液状ガスケット、または、液状ガスケット T B1207 B を塗布する。



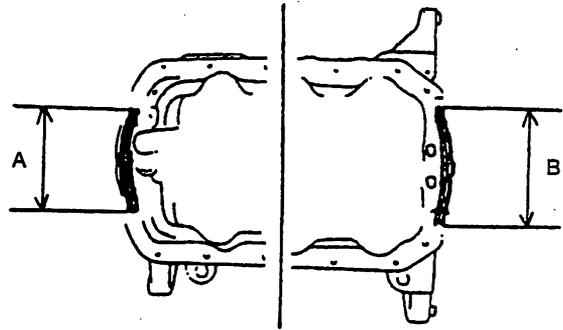
2. オイル・パン・ガスケットをオイル・ポンプ及びリヤ・カバーに図示のように取付ける。



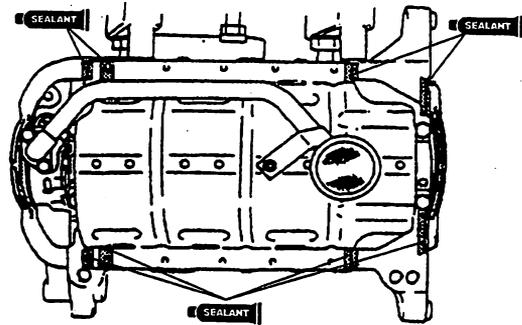
3. オイル・パン・ガスケットのオイル・パンとの合わせ面 A、B に S H780M 液状ガスケット、または、液状ガスケット T B1207 B を塗布する。

線径

φ2.0 mm



4. 図示箇所に S H780M 液状ガスケット、または、液状ガスケット T B1207 B を塗布する。



5. オイル・パンに S H780M 液状ガスケット、または、液状ガスケット T B1207 B を図示のように全周切れ目なく塗布する。

線径

φ2.5~3.5 mm

